|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業科目 | 公衆衛生 | 単位数 | １単位 | 時間数 | 15時間 |
| 担 当 者 | 福川　大介(臨床経験7年) | 学　年 | ２学年 | 開講年次 | ２学期 |
| 目的 | １．看護の対象である個人及び集団の生活と健康を、健康を取り巻く環境と関連づけて学ぶ。２．健康の保持・増進のための個人・集団・地域への働きかけとしての保健活動を学ぶ。 |
| 科目目標 | １．国民の健康に関する状況と生活環境が理解できる。２．人々が健康を享受するために望ましい制度や組織活動が理解できる。３．医療専門職の役割が理解できる。 |
| 回数 | 授業計画・授業内容 | 方法 |
| 1回2回3回4回5回6・7回8回 | １．公衆衛生とはなにか公衆衛生の活動対象２．公衆衛生のしくみ３．集団の健康をとらえるための手法　疫学４．環境と健康国際保健５．感染症と予防接種６．地域における公衆衛生の仕組み ７．学校と保健８．職場と健康９．終了試験（45分） | 講義講義講義講義講義講義 |
| 准看時授業内容 | 保健医療福祉の仕組み |
| 教科書参考書 | 教科書：『系統看護学講座　専門基礎分野　健康支援と社会保障制度〔２〕公衆衛生』　　　　医学書院参考書：『国民衛生の動向』財団法人厚生統計協会 |
| 評価方法 | 出席状況、筆記試験 |
| 関連科目 |  |
| 備考 |  |